

# 当事業団における脳卒中と四大危険因子の検討

公益財団法人鳥取県保健事業団 ○前谷 夏澄 村上 久美子 梶川 貴子

## I. はじめに

脳卒中は三大疾病のひとつとされ、その発症には、四大危険因子（高血圧、喫煙、糖尿病、脂質異常）が関係しているといわれている。

今回、特定保健指導に限らず、脳卒中を予防するための保健指導介入時期について考えることを目的として、当事業団の職域健診受診者における脳卒中と四大危険因子の関係について検討したので報告する。

## II. 対象および方法

2013年度に当事業団で職域健診を受診した、男性 34,028 名、女性 29,834 名、合計 63,862 名を対象とした。

脳卒中の既往有無の割合、また、脳卒中既往ありの者の中で、危険因子別割合、危険因子数別割合を危険因子の組み合わせとともに集計した。

なお、危険因子については、脳卒中既往年齢と同じ既往年齢かあるいはそれ以前の既往年齢のものとし、喫煙については、脳卒中発症時まで喫煙歴があれば危険因子ありとして集計した。

## III. 結果

### (1) 脳卒中既往割合

表 1 に示したように、脳卒中既往ありの割合は、全体 0.6%、男性 0.8%、女性 0.3%といずれも 1%に満たなかった。

### (2) 危険因子別割合

図 1 に示したように、喫煙歴ありの割合が約 5割と最も多く、次いで高血圧既往ありの割合が約 4割だった。糖尿病既往ありと脂質異常既往ありの割合は、約 1割だった。

### (3) 危険因子数割合と危険因子の組み合わせ

図 2 に示したように、危険因子数別割合は、危険因子なしの割合が 37.5%と最も多く、危険因子数が増えるにつれて割合は減った。

図 3 に示したように、危険因子 2 つでは、高血

圧既往あり・喫煙歴ありの組み合わせの割合が約 7割と最も多かった。

図 4 に示したように、危険因子 3 つでは、高血圧既往あり・糖尿病既往あり・喫煙歴ありと高血圧既往あり・脂質異常既往あり・喫煙歴ありの組み合わせの割合が約 4割と多かった。

## IV. 考察

脳卒中既往割合について、女性が男性の半分以下となっており、その違いについて、今回の研究では検討していないが、生活習慣まで見ていくと性別で違いがあるかもしれない。

脳卒中発症時に危険因子がない人の割合が多かったことについては、今回の研究では明確なことは言えないが、全体では約 6割に危険因子があったことから、危険因子と脳卒中発症には関連性があると考えられる。

また、危険因子別にみると、喫煙歴ありと高血圧既往ありの割合が高く、組み合わせにおいても、この 2 つの危険因子が重複しているものの割合が高いため、脳卒中の発症に大きく影響しているのではないかと考える。

## V. まとめ

今回、脳卒中と四大危険因子の関係性を検討した結果、特に高血圧と喫煙歴が脳卒中発症に大きく関連しているのではないかと考えられる結果となったが、危険因子が重ならないように、食事や運動などの生活習慣、禁煙などの指導を行っていくことが重要だと分かった。

また、脳卒中発症時に危険因子がない人については、健診結果では受診勧奨域だが受診していなかった可能性もあり、早期に治療に繋がるよう受診勧奨していく必要があると考える。

表 1. 脳卒中既往割合

	既往あり	既往なし	計
全体	371(0.6%)	63491	63862
男性	279(0.8%)	33749	34028
女性	92(0.3%)	29742	29834

図 1. 危険因子別割合

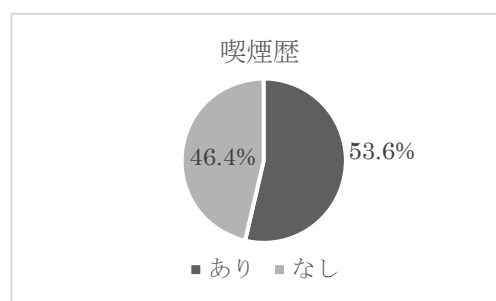
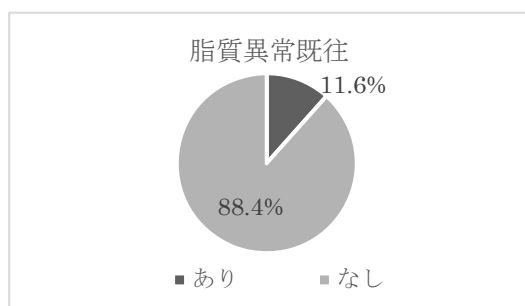
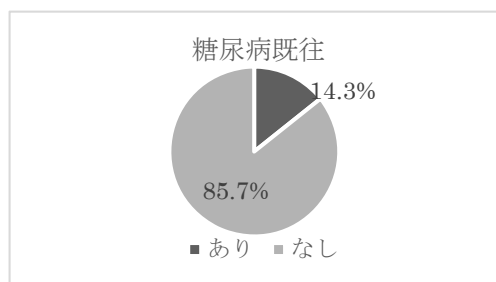
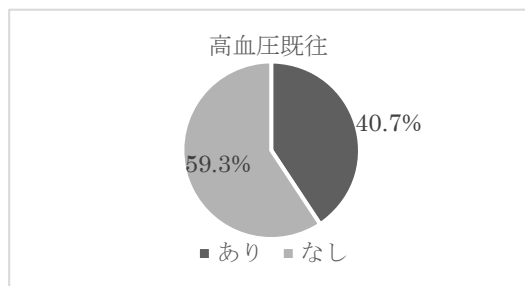


図 2. 危険因子数別割合

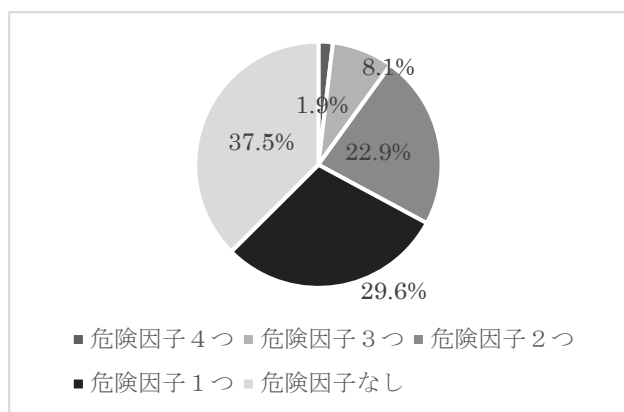


図 3. 危険因子 2つの組み合わせ

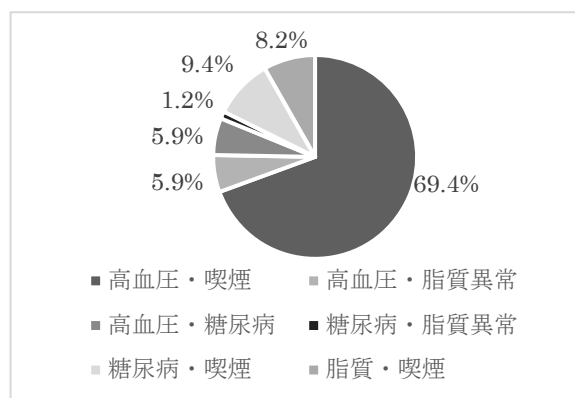


図 4. 危険因子 3つの組み合わせ

